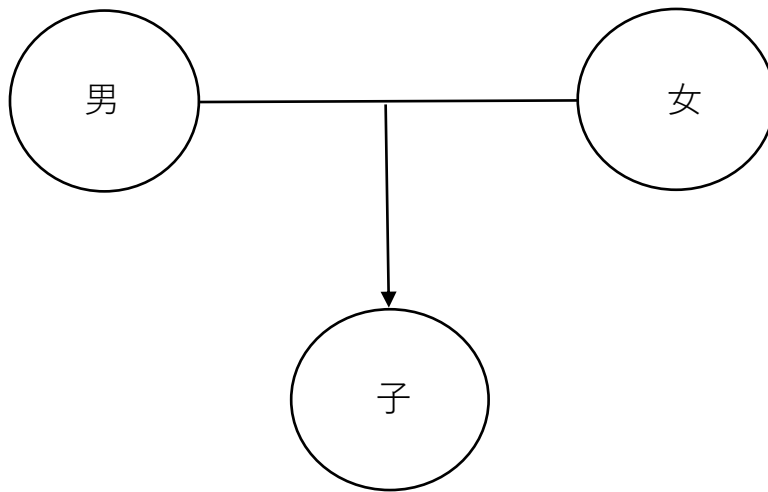


当然に判断できる文言は省略される。



- I. 次の文言で省略されている被害者は誰か？
 - ①この家では、夫がときどき暴力を振るう。
 - ②この家では、父親がときどき暴力を振るう。

- II. 次の文言で仲良くなったのは誰か？
 - ①この家では、10年前は夫がときどき暴力を振るっていたが、今は仲良くなっている。
 - ②この家では、10年前は父親がときどき暴力を振るっていたが、今は仲良くなっている。

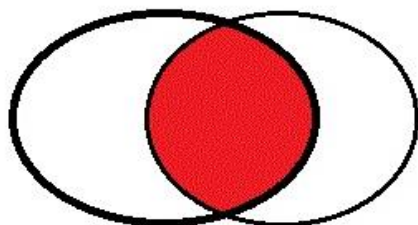
敵が考える正解

- I. ① 被害者は妻。夫の対義語が妻だから。
- I. ② 被害者は子。父親の対義語が子だから。
- II. ① 夫婦が仲良くなった。以前夫が暴力を加えた相手は妻だから。
- II. ② 父親と子が仲良くなった。以前父親が暴力を加えた相手は子だから。

強調語「のみ」の位置により意味が変わる。

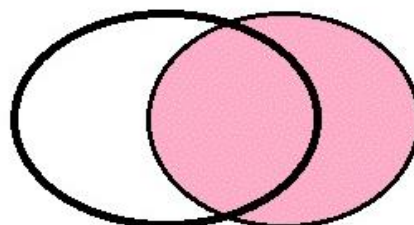
太い実線の内側が既存条件で真の範囲とし、
細い実線の内側が新規条件の真の範囲とする。

「新規条件」に基づいてのみ



既存条件が真であったうち、
新規条件と重なった範囲が真。
「のみ」が無くても意味は同じ。

「新規条件」のみに基づいて



既存条件を無視し、
新規条件の内側が真。